

第119回 神戸甲状腺研究会プログラムのお知らせ

第119回神戸甲状腺研究会当番世話人
神戸市立医療センター 中央市民病院 籀谷 雄二
兵庫県立尼崎総合医療センター 中村 嘉夫

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
第119回神戸甲状腺研究会のプログラムが下記のとおり決定しましたのでご案内申し上げます。
今回も現地参加のみの開催を予定しております。
感染防止に細心の注意を払い開催いたしますので多数ご参集頂きますようご案内申し上げます。

記

日 時：2024年9月14日（土）15：30～18：30
場 所：医療法人 神甲会 隈病院 多目的ホール（Miyouchi hall）
住 所：〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通8丁目2-35
電 話：078-371-3721

*当該研究会は日本内分泌学会の内分泌代謝科専門医更新単位付与集会（2単位）として認定されています。

第119回研究会の抄録は下記研究会のウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。
掲載は9月10日頃を予定しております
神戸甲状腺研究会のURL：<http://kobethyroid.com/index.html>

当日は会場整理費として500円を徴収させていただきます。

会次第：

15:30～17:20 一般演題（各15分～20分）

- ① 病理にて乾酪性肉芽腫を呈した原因不明の甲状腺腫瘍の1例
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科¹⁾、頭頸部外科²⁾、病理診断科³⁾
藤島 雄幸¹⁾、籀谷 雄二¹⁾、永田 愛結¹⁾、倉田 真由香¹⁾、井上 幹造¹⁾、村部 公亮¹⁾、
藤本 寛太¹⁾、岩倉 敏夫¹⁾、石原隆¹⁾、大八木誠児²⁾、菊地正弘²⁾、山下大佑³⁾、松岡 直樹¹⁾
- ② 放射性ヨウ素内用療法が著効した peritoneal strumosis の2例
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科
村部 公亮、籀谷 雄二、永田 愛結、倉田 真由香、井上 幹造、藤島 雄幸、藤本 寛太、
岩倉 敏夫、石原隆、松岡 直樹
- ③ 超音波検査で濾胞癌の被膜浸潤と考えた部分が術後にリンパ腫と判明した1例
隈病院 外科¹⁾、内科²⁾、病理診断科³⁾
川野汐織¹⁾、木原実¹⁾、廣川満良³⁾、東山卓也¹⁾、古村芳樹²⁾、宮内昭¹⁾、赤水尚史²⁾

- ④ バセドウ病に対してチアマゾールで治療中に HTLV-1 関連ぶどう膜炎を発症した 1 例
兵庫県立尼崎総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
笠松大悟、井植浩祐、瀬川ひとみ、源優樹、矢間翔大、内山葵、田辺悦子、大久保万理江、
原田貴成、下田平眞生子、中村嘉夫
- ⑤ CHNG3 を同定した 2 家系の臨床像
隈病院 内科¹⁾、笠原クリニック²⁾、慶應義塾大学 小児科学教室³⁾、
獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学講座⁴⁾、隈病院 臨床検査科⁵⁾、隈病院 外科⁶⁾
古村芳樹¹⁾、深田修司¹⁾、西原永潤¹⁾、笠原俊彦²⁾、鳴海覚志³⁾、伊藤裕佳⁴⁾、小飼貴彦⁴⁾、
河合岳郎⁵⁾、岩村菜々美¹⁾、世良佳奈子¹⁾、宮村慧太郎¹⁾、今村千佐子¹⁾、江藤真実¹⁾、
門野至¹⁾、鬼頭健一¹⁾、出口ハンナ¹⁾、高橋佐和子¹⁾、高坂和芳¹⁾、山岡博之¹⁾、久門真子¹⁾、
伊藤充¹⁾、西川光重¹⁾、宮内昭⁶⁾、赤水尚史¹⁾
- ⑥ 甲状腺中毒性周期性四肢麻痺を呈した無痛性甲状腺炎の 1 例
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
大西佑弥、天野桃望、竹内健人、渡邊美季、志智大城、駒田久子、橋本尚子、飯田啓二

17:20～17:30 休憩

17:30～18:30 特別講演 (60 分)

座長：赤水尚史 (医療法人神甲会隈病院)

「甲状腺ホルモン脱ヨード酵素の基礎から臨床まで」

京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 助教

山内一郎 先生

18:30 閉会

共催 神戸甲状腺研究会 / アボットジャパン合同会社